



タブーでなくなった米大統領選不正システム

2016年の米大統領選では票で負けたトランプが選挙不正システムでヒラリーに勝ち、民主・共和党の談合でヒラリーの金の為の売国罪は不問になった。

本年11月は票で勝ったトランプが不正システムでバイデンに負けたが、民主・共和党の談合が無いので1月20日にバイデンが大統領になれば、トランプは現在FBI捜査中の事件で即逮捕、投獄は間違いないだろう。

2016年11月と本年11月の大統領選での不正犯人はケネディ暗殺、9/11(セプテンバー・イレブン)、新型コロナの犯人と同じである。

2016年トランプを大統領に選んだ理由と新型コロナ創造の目的は同じである。

犯人を「目に見えない意志」とするなら、新型コロナはまだ終わっていないのだから、今回の大統領選もまだ終わっていない。

つまり「目に見えない意志」のやる事がまだ残っているということである。

国民を抱えているアメリカと世界は「見えざる意志」にやってもらわなくては出来ないことが山積みになっている。

新たな世界軍事秩序、財政破綻無き金融財政制度、中央銀行制度改革等々枚挙すればきりが無い。

「見えざる意志」が負けていたバイデンを勝たせ、トランプにやらせていることの正反対のことを言わせているのは何故か。

今までタブーであった不正選挙システムを暴かせたのは何故か。

更に主流と亜流のマスコミの偽と嘘と偏向報道を許したのは何故か。

結果、国民は民主主義の形をした不正義の政治と、国民に対する騙しと不正の手段でしかないマスコミを一切信用しなくなった。

これが「見えざる意志」の望むところなのか。

政治が「見えざる意志」を実行するには国民の信用が無くては出来ないのに何故だ。

得票通りトランプを勝たせ、議事を機能させる為民主・共和党が談合し、バイデン親子の犯罪を不問にすれば「見えざる意志」の通りことが運ぶと思っていた。

だが、今になって私は「ふと気が付いた」!

「見えざる意志」にとって、もっと、もっと望ましい手があることに。

さすがに「見えざる意志」はすごい!

これなら本当にアメリカの天下がひっくり返って新しい時代に力強く前進する!

先行受付中! 増田俊男の小冊子 Vol.119

『アメリカ大統領選の「裏の裏」!』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 119 は先行受付中です。内容は*民主主義が変わる時が来た *「歴史の歯車の逆戻り」には「裏」がある *新しい時代の国家概念と制度改革 *2016年からの驚くべき実績、「これしかない財産保全・増殖法」 *今こそ自覚しよう「神の落とし子としての日本人の生き方」などです。発送開始は12月中旬を予定。価格は、1冊4,800円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。